

スコアシート		実施設計段階										
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄				評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
Q 建築物の環境品質												3.1
Q1 室内環境									0.40		-	2.9
1 音環境								3.0	0.15	2.8	1.00	2.8
1.1 室内騒音レベル				—				3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音								3.0	0.50	2.6	0.50	
1 開口部遮音性能				—				3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				—				-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				—				-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				—				-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				—				-	-	-	-	
2 温熱環境								1.6	0.35	2.7	1.00	2.4
2.1 室温制御								2.2	0.50	3.7	0.50	
1 室温				—				3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能				外皮等級5相当(誘導仕様基準)				1.0	0.38	5.0	0.38	
3 ゾーン別制御性				—				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				—				1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式				—				1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境								2.3	0.25	3.7	1.00	
3.1 昼光利用								1.8	0.30	3.4	0.50	
1 昼光率				住居部2.0%以上				1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口				—				-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備				—				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策								2.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御				カーテン・庇(バルコニー)の2種類の組み合わせで制御				2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度				—				3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御				—				3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境								3.6	0.25	3.3	1.00	
4.1 発生源対策								4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質				建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面に採用した				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気								3.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量				—				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能				—				-	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				—				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理								-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視				—				-	-	-	-	
2 喫煙の制御				—				-	-	-	-	
Q2 サービス性能								—	0.30	-	-	3.4
1 機能性								2.5	0.40	4.2	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ								1.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性				—				-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応				Gbitクラスのプロードバンド利用可能				-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画				—				1.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性								3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観				—				-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				—				-	-	-	-	
3 内装計画				—				3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理								4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				・壁面・床面は汚れにくい仕上げとしている ・エントランス床面の洗浄可能 ・水切りを効果的に設置 ・仕上げに大きく維持管理方法が異なる仕上げ無し ・外部に露出する金属部分にSUS等を使用				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				・清掃資材の保管スペース確保 ・廃棄スペースの確保 ・共用廊下に清掃を想定した電源確保 ・高所の維持管理を安全に行える設計 ・各廃水トラップは、取り外し可能 ・天井点検口設置 ・バルブ等は、日常的な調整を容易に行える設計 ・専有部以外の諸設備は共用部で維持管理可能				4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性								3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振								3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				—				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				—				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数								3.5	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				日本住宅性能表示基準 劣化の軽減に関する事等級3相当				5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				—				2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				LD: 床シートフローリング、壁・天井ビニールクロス(PB下地)				4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				—				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				給水: 水道用ポリエチレン管、汚水: VP管、雑排水: VP管、E不使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				—				2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性								3.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				—				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				—				3.0	0.20	-	-	
3 電気設備				—				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				耐震クラスA				4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				—				3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			3.0	0.30	3.4	1.00	3.2
	3.1 空間のゆとり			-	-	3.8	0.50	
	1	階高のゆとり	階高3.0m以上	-	-	5.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	—	-	-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		—	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			—	0.30	-	-	3.0	
1	生物環境の保全と創出		—	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		—	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	3.4	
LR1 エネルギー			—	0.40	-	-	3.7	
1	建物外皮の熱負荷抑制		日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級5相当」	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		LED照明設備、潜熱回収型給湯器導入	4.1	0.50	-	-	4.1
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	集合住宅の評価			4.1	1.00	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			—	0.30	-	-	2.9	
1	水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水		—	3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
	2.1 材料使用量の削減		—	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		—	3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		躯体+軽鉄+仕上げ材のデティールを採用している	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		—	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	2.0	0.33	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値が10以下)を用いた断熱材の使用	4.0	0.33	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			—	0.30	-	-	3.4	
1	地球温暖化への配慮		LCCO2の排出率が、参照値の72%	4.1	0.33	-	-	4.1
2	地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1 大気汚染防止		—	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		—	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	1.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たしている 広告物照明無し	5.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	－	－	○	○	－		○	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	7.0		○	○	○	－	○	○	－	○	－	○	－	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	8.0		－	○	－	－	○	－	○	○	○	○	○	○	－
2.4.1 空調・換気設備	－		○	－	－	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	1.0	○	－	－	－	－	○	－						
2.4.3 電気設備	1.0	－	－	－	－	○	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	－	○	－	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0		－	－	3.0	－	1.0	1.0	1.0	－	1.0	－	－		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	－	－	－	－							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		－	－	1.0	－	－	1.0	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	11.0		－	－	2.0	3.0	2.0	－	－	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	－		－	－	－										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	－	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	○	－	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	－														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0		1.0	－	－	2.0	3.0	－	－	1.0	3.0	－			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	－	－	－	1.0	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	－		－	－	－	－	－	－							
3.2.2 砂塵の抑制	－		－	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)			
U値(W/m2K)		窓システム	屋根	外壁	床
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値 0.5		η AC 1.1	η AH
昼光率	9.2%				
自然換気有効開口面積率					

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上り材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上り材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	/人	病床	/床	シングル	ツイン	
コンセント容量	－	VA/m ²				
天井高	－	m				
リフレッシュスペース		レストスペース				
想定耐用年数	75 年					
想定必要間隔	－	年				
想定必要間隔	20 年					
想定必要間隔	－	年				
階高	3.37m	m				
壁長さ比率	－					
床荷重	－ N/m2					

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	－	建物緑化指数	－		
空地率	－	水平投影面積率	－	地表面対策面積率	－
				舗装面積率	－

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m		－ 断熱等性能等級		等級5 相当				
自然エネルギー直接利用量		MJ/年㎡		採光を満たす教室数		採光を満たす住戸数		－
				通風を満たす教室数		通風を満たす住戸数		－
				太陽光	3.7kW	太陽熱等	蓄電池	
BEI/BEI _m	再エネ有	－	無	－	オフサイト再エネ有	－		
一次エネ削減率	再エネ有	23%	無	23%	－			

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率					
特定調達品目	－	エコマーク商品	－	自治体指定の特定品目等	－
使用比率					
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			3
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	－	隣棟間隔指標R _w	－		
地表面対策面積率	－	屋根面対策面積率	－	外壁面対策面積率	－
見付面積S _b	－	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	－	m	基準高さH _b
				m	
緑地	－	水面	－	保水性対策面	－
				高反射対策面	－
				再帰性反射対策面	－